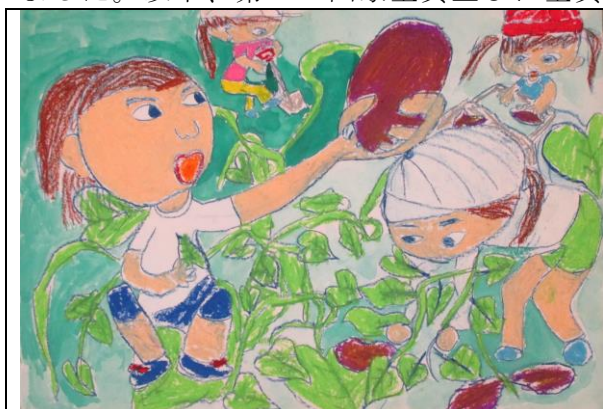


第59回象堂賞と金賞作品の紹介

象堂賞とは、重要無形文化財蠅型鑄造技術保持者であり、当校の卒業生でもある佐々木象堂氏のご婦人からの寄付を基金として、昭和37年から始まった美術教育の振興を願う賞です。去る11月5日(木)に近松寿弥様、池田脩二様から全校児童の作品を審査していただきました。以下、第59回象堂賞並びに金賞作品と審査員のコメントを紹介します。



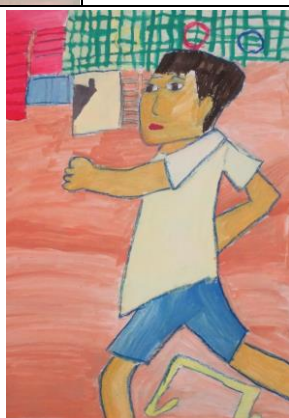
象堂賞

2年 小崎 絵未
「大きなサツマイモだね」

大きいサツマイモがとれたという、楽しそうな様子がよく描かれています。色の塗り方もダイナミックでとてもきれいです。動きのある表情がよく描かれている作品です。



金賞 1年 野口 優那
「シャボン玉にあつまってきたよ」
わたしのシャボン玉どンドン大きくなるよ。海の中だけど楽しさいっぱい。色の調子もよく、海の中の様子がよく分かります。



金賞 3年 戸田 圭音
「がんばった小がたハードル」
走っている様子が力強く表現されました。遠くの様子も細かく捉えられました。



金賞 4年 山本 果那実
「校歌をせいいっぱいえんそうしよう」
一生懸命、鍵盤を見ながら吹いている様子が伝わってきます。緊張している指使いがよく描かれていますね。きつと上手く吹けるでしょう。



金賞 5年 池 彩果
「初ちよう戦! ドキドキイカさき体験」
初めてイカをさばいたときの、真剣な眼差しがとてもすばらしいです。手の動きや友達と一緒に楽しんだ様子がよく表れています。



金賞 6年 岩崎 一也
「もう見られなくなるのか」
いろいろな思い出がつまっている学校を遠近感を出して、よく表現されています。何にしてもマスク姿が印象的な絵です。

<お願い>
※象堂賞基金が、令和元年度で無くなりました。長年の功績に感謝いたします。また、児童にとって大変意義ある事業と考え、PTA本部役員の皆様と協議し、今年度からPTA会計より経費を支出させていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。
(年間8000円程度)

<銀賞 受賞者>

1年	渡部 愛仁	近江 美虹
2年	矢島 照	北見 眞白
3年	若井 廉太郎	渡邊 由依
4年	末武 夏奈	後藤 琉亜
5年	池田 柚紀	伊藤 龍馬
6年	二岩 虹輝	中川 眞央

12月~1月 主な行事予定

- 12月 1日(火) 大人あいさつボランティア
- 10日(木) 個人懇談1日目
- 11日(金) 個人懇談2日目
- 14日(月) 個人懇談3日目
- 24日(木) 2学期終業式 給食最終日
- 1月 7日(木) 3学期始業式
- 8日(金) 給食開始 校内書き初め大会
- 29日(金) 学習参観日